

# ニュース光

第 173 号

2024年10月27日

発行所

祇園カトリック教会

信徒会

hikari@gionkyokai.jp

## 歴史ある新しい祭壇へ



第二バチカン公会議から対面ミサとなり、その時に設置された木製の祭壇が六十年たらずの役目を終えました。新しい祭壇は祇園教会献堂時の石の祭壇です。懐かしく思われる方もいらっしやるでしょう。

九月二十九日、白浜司教様

によって祭壇奉献式のミサが行われました。司教様が新祭壇に油をぬり、献香をされたときはとても感動的でした。その荘嚴な雰囲気の中、小学生から高校生の侍者たちが新調された祭壇布をかけ、ろうそくを並べ、お花を供え、いつもの祭壇の姿にな

### お話をお聴き頂けます

の式司教  
の献堂奉  
のミサ説  
の壇様  
の聖體  
の神聖  
の口祭  
の猪神祭  
のお話



つていきます。その淡々とした行程もまた、感動的なものでした。侍者たちは何度も練習を重ね、聖歌隊も日ごろなじみのない曲を奏で、ミサ準備は何度も遂行を重ね、皆が個々のタレントを惜しみなく使いました。

あの感動的なミサはたくさん支え手によって成し遂げられたのです。準備に携わった方たちに感謝をいたします。

さて、この聖体は？  
聖櫃は小聖堂に移動しました。聖体訪問は小聖堂にお越しください。

典礼委員長 池澤八百子

「はじめまして。」

イエス会のグエン・ミン・トアン神父です。」



2015年6月の終わりにベトナムから日本に参りました。2022年9月17日に東京教区の麹町教会で司祭叙階されました。

生まれてからずっとカトリック教会の環境の中で育てられました。毎日与っていた教会のミサの中で司祭たちが祭壇で手を広げて、ミサを捧げている姿をずっと見ていたので、いつからか私の心の中にその姿が入り込んでいました。今でも振り返ると、その姿は美しいと感じています。その姿を通して少しずつ神父になろうという望みが強くなりました。これから半年ぐらいい信仰の旅を皆さんと一緒に歩むことができそうです。よろしくお願いいたします。どうぞよろしくお願いたします。

ばおん  
5198

八月十五日聖母の被昇天の日、ミサに与った。父の命日では特別の日である▼私とキ

リストの出会いのルーツは父である。明治生まれの父は敬虔な信者であった。若い頃近所に住む韓国人のお婆さんの姿に啓発されカトリックについて勉強して洗礼を受けた。貧乏でその日暮らしなのにどうしていつも笑顔で人の世話ばかりするのだろうか。彼女がカトリック信者と知ったからである▼父は晩年、毎月初金ミサに一年間欠くことなく与ると天国に行けると信じて二年分を全うしたから天国の片隅に行けると喜んでいた▼こんな父の後ろ姿を見て育ったおかげで今の私がある。物心ついた頃は教会に行くのがいやでいやで。父に首に縄をかけられて教会へ連れて行かれた記憶が父の想い出である▼父が亡くなった年を優に超え、信仰生活を続けられるのは、きっと今も天国の片隅から私のことを見守り続けてくれる父のおかげだと、感謝している。

祇園地区幼児洗礼S